

# 健康診断・がん検診の活用

## TOPICS



皆様は、定期的に健康診断やがん検診を受けておられますか。

私がこれまでに担当した患者様の中に、目が見えづらくなったことをきっかけに病院を受診し、糖尿病が見つかった方がおられました。その方はそれまで健康診断を受けたことがありませんでした。糖尿病は沈黙の病気で、初期は無症状です。「目の見えづらさ」は糖尿病で最初に自覚しやすい症状の一つですが、この症状が現れた時点で既に糖尿病による目の合併症が進行している可能性が高く、失明に至ることもあります。この患者様の場合、初診の時点で目の合併症「網膜症」だけでなく、腎臓の合併症「腎症」も進行した状態であったため、数か月のうちに透析治療（機能の低下した腎臓の代わりに、機械を用いて血液を浄化する治療）が必要となりました。もしも毎年のように健康診断を受けておられれば、おそらくもっと早い段階で糖尿病を見つけ治療を開始することができ、これらの合併症を防げた可能性が十分あったと思います。

健康診断では、特定の病気に絞ることなく、身体に異常がないかを広範囲にわたり調べます。一方で、特定の病気に絞って調べるものを「検診」と呼び、その代表例が「がん検診」です。がんは怖い病気ではありますが、早期発見・早期治療ができれば根治の可能性が高まります。市町村のがん検診を活用すれば、公費負担によって少ない自己負担額で受けることができます。

がん検診では、がんの種類別に有効な検診内容が決まっています。例えば胃がんの場合はバリウム検査（胃部X線検査）や胃カメラ（上部消化管内視鏡

検査）、大腸がんの場合は便潜血検査といった具合です。

また、がんの中でも胃がん、肝臓がん、子宮頸がんは感染症が主な原因であるため、これらの予防には感染症対策も欠かせません。例えば胃がんの場合、「胃がんリスク検査」によりH.ピロリ菌への感染を調べ、感染が判明した場合には除菌治療を受けることで将来的な胃がん発生リスクを減らすことができます。厚木市のように、同検査を「市町村のがん検診」に含め、市民が低額で受けられるよう公費負担している自治体もあります。肝臓がんの場合、肝炎ウイルス検診を受けるなどして、B型・C型肝炎を早期発見することが大切です。多くの自治体では、過去に肝炎ウイルス検診を受けたことのない方が同検診を無料または低額で受けられるように、公費負担をしています。

当院は、病気の治療以外にも今回ご紹介したような様々な予防医療に携わっています。病気への対策はまず発生予防、そして早期発見・早期治療による進行予防が重要です。そのためには、健康診断、がん検診の活用が有効です。健康診断については当院併設の「東名厚木メディカルサテライトクリニック健診センター」で受けられます。がん検診については、当院は「厚木市がん検診（全種類）」「伊勢原市乳がん、子宮がん検診」の実施医療機関であり、胃がんリスク検査や肝炎ウイルス検診を含めすべて院内で受けられます。令和4年度分のがん検診はいったん2月で終了しますが、令和5年度がん検診は6月から始まります（その前に受診券が送られてきます）。今年度受けることが出来なかった方は、健康維持・増進のために是非ご検討ください。そして、ご不明な点については院内のスタッフにお声掛けください。

総合診療科 福中 康志



とうめい厚木クリニック

〒243-0034厚木市船子237

TEL.046-229-3377 FAX.046-229-1935

<https://www.tomei.or.jp/clinic/>



予約・お問合せ電話番号

☎ 046-229-1950